

経営比較分析表（令和2年度決算）

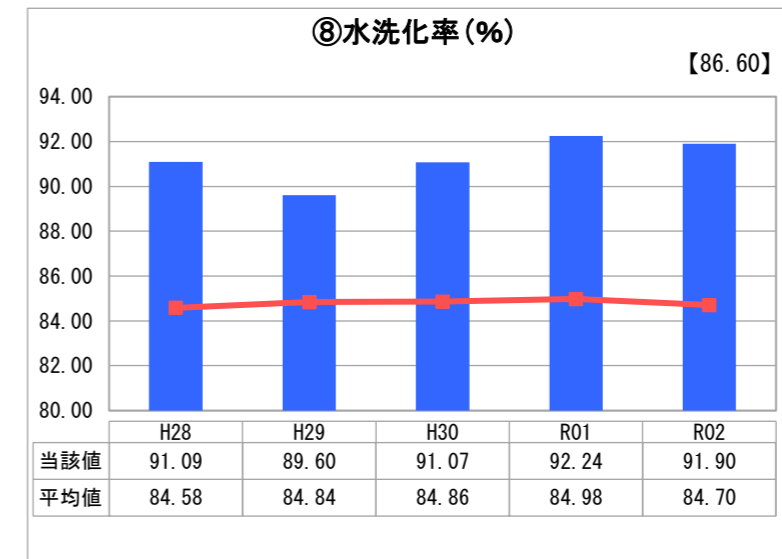
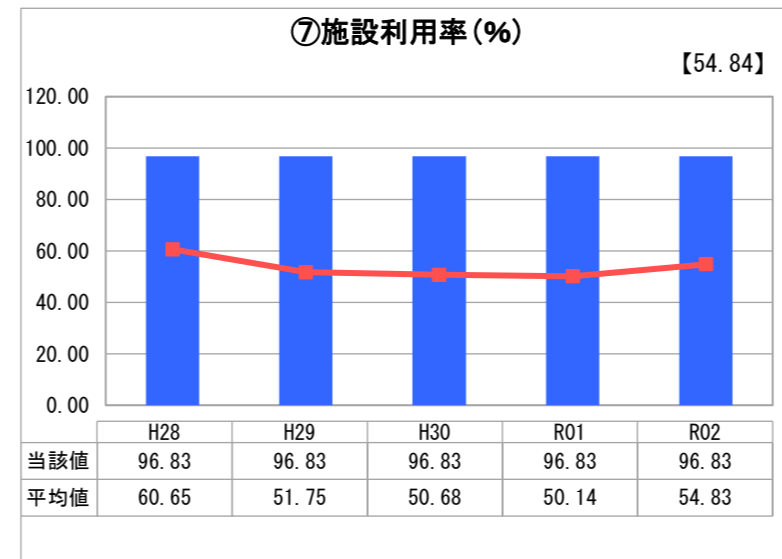
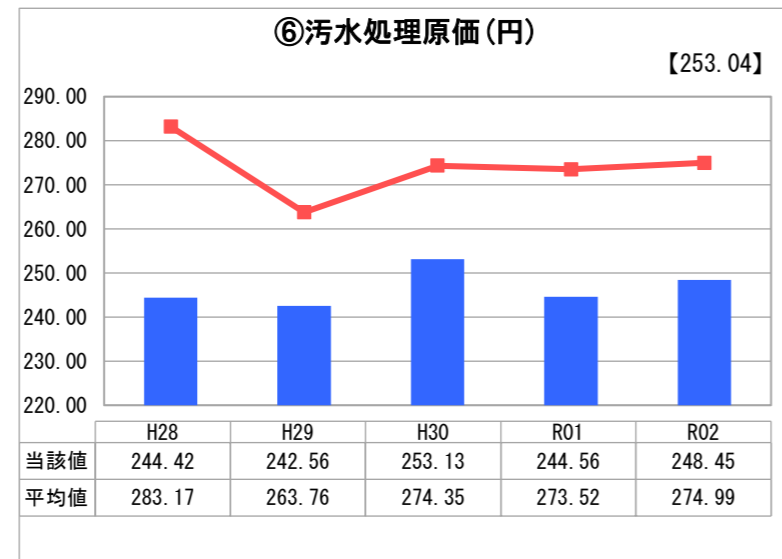
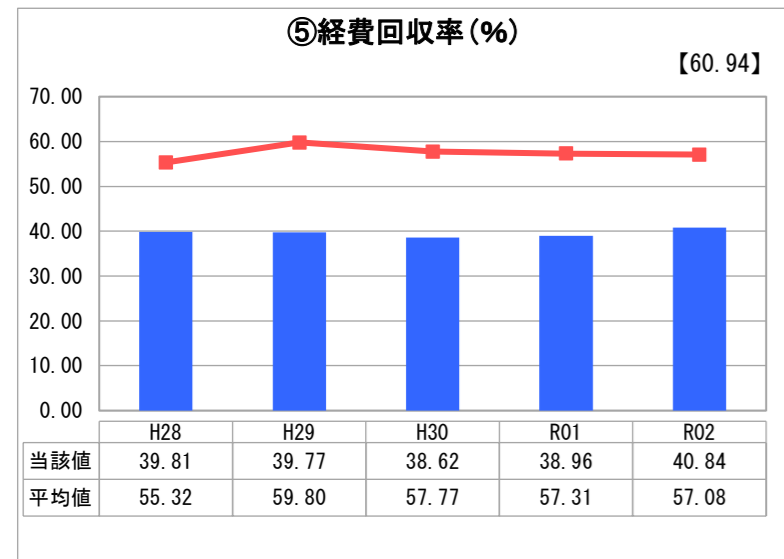
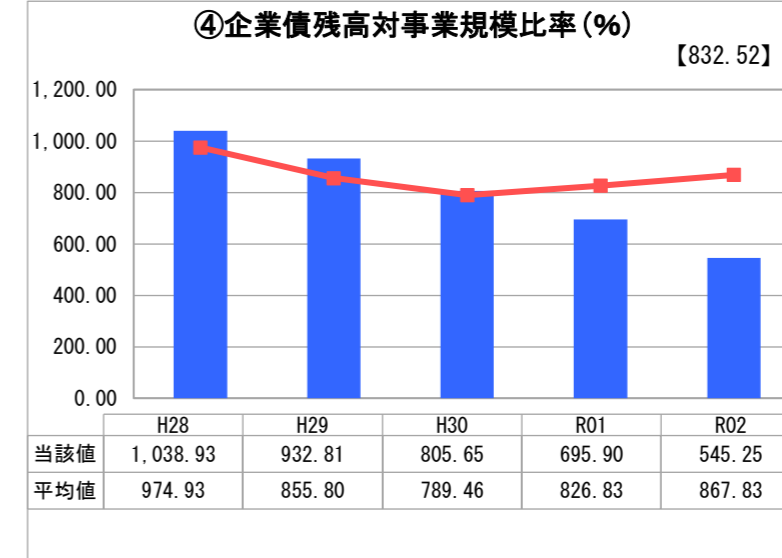
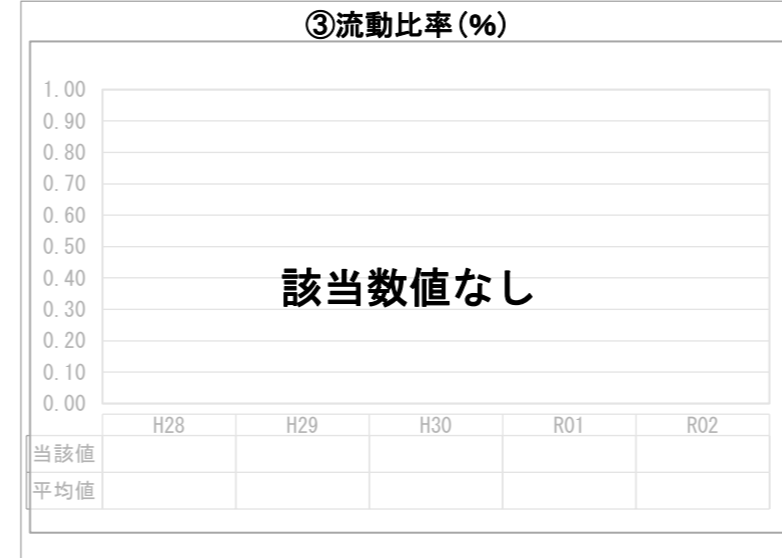
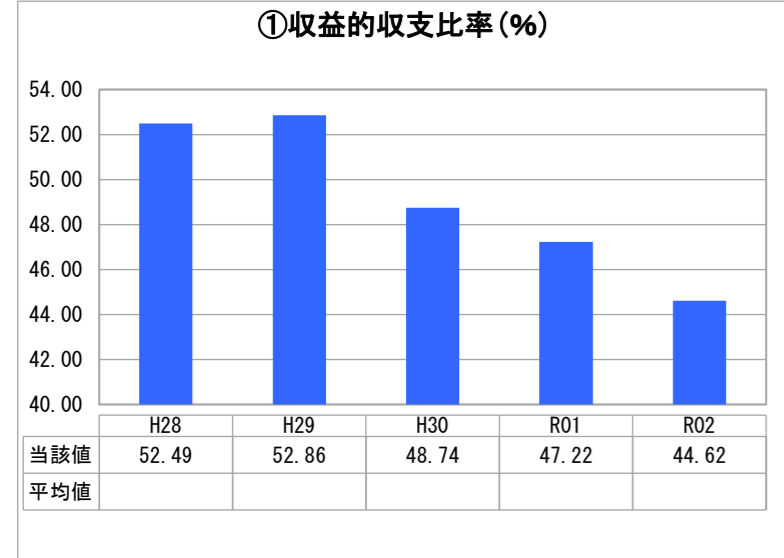
福井県 若狭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	54.07	100.00	3,850

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,431	178.49	80.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,753	3.36	2,307.44

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
44.62%と経営が悪化している。H29を境に下降の傾向となっているが、R3年度より料金改定を行っているため、今後は改善される見通しである。

②累積欠損金比率・③流動比率について
該当数値なし

④企業債残高対事業規模比率について
起債償還のピークが過ぎ、今後数年は減少傾向になると思われる。しかし、R6年度以降には施設の大規模更新を予定しており、再び企業債の増額が予想される。

⑤経費回収率について
40.84%と100%を大幅に下回っている。施設の老朽化により使用料だけでは経営できなくなっており、一般会計の繰り入れや基金の取り崩しによって賄っている状況である。

⑥汚水処理原価について
過去3年間に於いて大きな変化なし。

⑦施設利用率について
平均と比較して高い数値となっている。使用人口は減少傾向にあるが、不明水の流入により水量が多いことも考えられる。

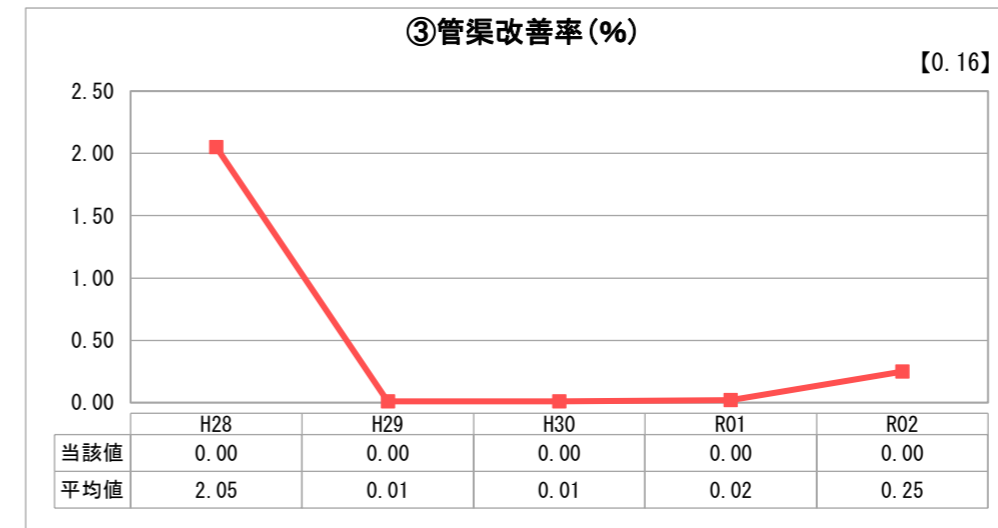
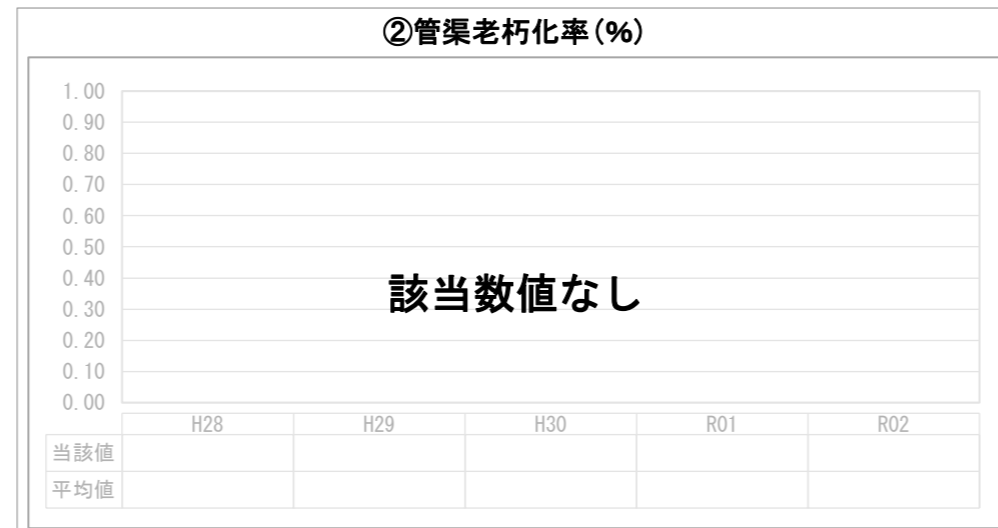
⑧水洗化率について
90%を超え高い数値となっている。接続については個人の負担もあるため、伸び悩むことが予想される。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産原価償却率・②管渠老朽化率について
該当数値なし

③管渠改善率について
現状、管路の更新は行っていない。耐用年数である50年をめどに計画的な更新が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

R3年度より料金改定を行い、およそ3割の値上げとなっている。今後も計画的な料金改定が必要である。
R4年より農業集落排水の事業計画を実施し、施設の機能強化を実施していく予定である。
また、R5年度より公営企業会計を導入し健全な経営を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。